



HANOI UNIVERSITY

Km 9 Nguyen Trai Road, Thanh Xuan, Hanoi, Vietnam
Telephone: (84-4) 854 4338; Fax: (84-4) 854 4550
E-mail: hanu@hanu.vn; Website: www.hanu.vn

日本語海外研究者招聘事業 成果報告書

I. 研究概要：

氏名：チャン・ティ・チュン・トアン

所属：ハノイ大学日本語学部（准教授）

招聘回（招聘期間）：第六回目（2012年4月1日～2012年10月30日）

招聘研究テーマ：「ハノイ大学における基礎日本語文法テキスト作成」

研究目的：

本研究はベトナムの日本語教育、日本研究におけるベトナム人向けの教材開発の一環です。日本語文法を実践的な日本語教育の傍ら、論理的な立場から日本語教育における日本語文法を再度確認し、日本語学の基礎知識を養い、日本語教育と日本語学教育を相互的・補助的に結び付けることを目的としています。

ハノイ大学における「日本語文法」科目に使用するテキスト（教材）を作成することを通して、日本語教育をより強化させると共に日本語学研究をはじめ、日・越言語学比較研究といった日本研究を促進させることを目的としています。

研究概要：

本研究者は、ハノイ大学日本語学部の「日本語文法」という科目に使用される資料が不足されている状況を鑑み、教材作成に取り組みはじめました。2008年9月から少しずつ講義用の資料を収集し、2011年9月まで、一応資料を整理し、学内用草稿ができあがりました。そして、2012年4月から9月にかけて貴財団から第六回「日本語海外研究者招聘事業」の助成を受け、早稲田大学で草稿を書き直して「基礎日本語文法」という教材を作り上げました。

早稲田大学滞在中は、早稲田大学日本語教育研究科に勤務される日本語教材研究・作成の専門家である吉岡英幸教授を始め、元宇都宮大学国際学部の日本語言語学専門家である小池清治教授から教材の構成、内容などについてご指導・ご指摘をいただき、また、早稲田大学日本語教育研究科博士後期課程に所属する田中祐輔氏に教材中の日本語表現などの校正を行っていただきました。そのおかげで、主に教材としての内容、書式が確定でき、本書の全体がほぼ出来上がりました。

この「基礎日本語文法」は『第一編の形態論』と『第二編の構文論』の二冊からなりますが、今回の招聘は6ヶ月間という限られた期間だったため、例文をはじめ、練習問題、練習

問題の回答、新しい語・句のリスト及びベトナム語訳、教師用手引き、イラストなどがまだ完成していません。

帰国後、これらを補足しながら、本教材を実際の授業で使用してみました。結果は、以前の版より授業の指導がより効果的なものとなり、学生からの評判も良いものでした。

展望：

将来、本教材はハノイ大学の「日本語文法」授業での使用以外に、ベトナムにおける日本語教育が行われている他の大学、研究機関をはじめ、日本語学を大学院に設置しているハノイ国家大学付属外国語大学のような機関での日本語学基礎文法の参考資料として利用されることを考えています。また、日本語文法の教材不足を解消し、さらに、講師養成の解決策の一助になると考えています。

また、本教材のベトナム語版も作成し、一般言語学、あるいは日・越比較言語学の資料として利用できるものにしたいと考えています。

II. 研究成果論文：

研究成果論文は、10月28日に提出した『第一編の形態論』と『第二編の構文論』の二冊を研究成果として論文に代えさせていただきます。